

庄内における 高速交通基盤整備と 地域活性化を 考えるシンポジウム

9.18(火) 会場/グランドエル・サン

4 回目の開催となる今回のテーマは「庄内空港の滑走路延長を含めた機能拡充」。講師に国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課長の奥田薫氏、株式会社ANA総合研究所代表取締役社長の岡田晃氏をお招きし、会員や行政機関、建設関係者、金融・経済団体等、庄内全域から約450名のご参加をいただきました。



地元の熱い期待を届けました!

↑講演後、庄内空港の滑走路延長などを盛り込んだ要望書(国土交通省航空局長宛)を奥田課長(左)に手渡す、庄内開発協議会の正副会長及び加藤祐子代議士

空港・高速道路・新幹線等の高速交通網が全国的に進んでいるのに対し、ここ庄内地域はその整備が遅れ、地域間競争力の低下が懸念されています。そこで鶴岡商工会議所では、高速交通基盤を活用した地域活性化の在り方を考えるためのシンポジウムを開催しました。

「空港関連の予算の基本方針や振り分け状況、空港整備に関する国の支援制度、インバウンド需要をしっかりと取り込んでいる青森空港の取組事例、庄内空港と同じ2000mの滑走路でありながら近年国内線・国際線ともに旅客数が大幅に増加し滑走路延長にも取り組んでいる佐賀空港の紹介、庄内空港の滑走路延長に関しては費用対効果の見極めが重要であり山形県と一緒に検討していきたい」等のお話をいただきました。



株式会社ANA 総合研究所の岡田社長からは「庄内空港と地域の活性化」インバウンド



空港関連整備に関する計画を統括する立場にある航空局の奥田課長からは「航空行政の現状と展望」地方空港等の機能強化」と題して講演いただき、

平成31年度 鶴岡市への要望事項

10月15日(月)の常議員会にて決定の後、11月上旬に鶴岡市へ提出します。

I. 人口減少、少子高齢化対策の推進

- ★1. 地域の産業経済を支える労働力の確保について
 - (1) 高校生・高専生及び山形大学農学部生の地元企業への就職の促進
 - (2) 大学進学者及びUIJターン希望者の地元企業への就職の促進
 - (3) 小中学生が地域の産業・経済を知る教育の拡充
 - (4) 製造業、建設業等における生産性向上・省人化に向けての設備投資に対する支援の拡充
 - (5) 子育て世代の女性がより労働しやすい環境の整備
- ★2. 少子化対策の拡充について
 - (1) 婚活事業の拡充 (2) UIJターン希望者への情報提供及び支援の拡充

II. 社会資本の整備促進

- ★1. 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について
 - (1) 早期完成に向けた要望活動の強化
 - (2) 重要物流道路の指定に向けた要望活動の強化
 - (3) 鶴岡ジャンクションのフルジャンクション化
- ★2. 東北横断自動車道酒田線の整備促進について
- ★3. 国道道の整備促進について
 - (1) 鶴岡東バイパスの四車線化の早期完成
 - (2) 県道羽黒橋加茂線の早期完成 (3) 道形黄金線の早期整備
- ★4. 鶴岡市内の交通アクセス改善について
 - (1) 七日町通りの道路改良の早期着工 (2) 交差点改良の促進
 - (3) 側溝整備の促進
- ★5. 庄内空港の機能拡充及び利用促進について
 - (1) 滑走路延長に向けた調査及び国庫補助採択に向けた要望・活動の強化
 - (2) 年間搭乗者50万人を目標としたアクションプランの策定及び取り組みの強化
 - (3) 中型機の周年運航及び運航ダイヤの改善
 - (4) LCC等による国内路線の拡充 (5) 運賃割引制度の拡充
 - (6) 搭乗者の拡大に対応した搭乗手続き、待合室、駐車場等の拡充
 - (7) チャーター便の誘致、CIQ(税関、出入国審査、検疫)体制など、国際化への対応強化
- ★6. 羽越本線の高速化及び定時運行、羽越新幹線の整備促進について
 - (1) 速達型特急の創設などによる高速化の推進
 - (2) 乗車が観光目的となる魅力ある車両の導入
 - (3) 安全・安定輸送に向けた施設整備の促進
 - (4) 羽越新幹線整備に向けた運動の強化
- ★7. 災害に強い都市基盤の整備について
 - (1) 河川改修の促進及び雨水対策の強化
 - (2) 上下水道の耐震化の推進
 - (3) 降雨量、河川の水位、道路・交通状況など、きめ細やかな情報の提供

III. 中心市街地の活性化

- ★1. 第2期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進について
 - (1) 南銀座通り、一日市通り及び川端通りの一方通行解除及びこれに向けた道路整備の促進
 - (2) まちなか居住事業の促進 (3) 空き家・空き店舗対策の強化
 - (4) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進
 - (5) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など、城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成
- ★2. 中心市街地の居住、事務所機能の集積等に資する民間事業の活性化について
 - (1) 民間事業による居住、事務所機能の集積等に資する支援の創設
 - (2) 土地の高度利用・景観形成に向けた調査研究
 - (3) 都市計画高度地区における高さ制限の緩和

IV. 産業の振興

- 【全般】
- ★1. 新規創業及び事業承継に対する支援強化について
 - (1) 新規創業及び第2創業に係る支援及び相談体制の強化
 - (2) 事業承継に係る支援及び相談体制の強化
 - ★2. 販路開拓に係る支援の拡充について
 - (1) 首都圏における物産展の拡充及び新商品等の優先的出展
 - (2) ふるさと納税を活用した販路開拓の推進及び返礼品の公募
 - (3) 加茂水族館における販売物の公募
 - (4) 展示会、商談会への参加に対する支援

- (5) 工事、物品及び役務等の地場企業への優先発注
- ★3. 国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について
 - (1) 各種支援施策に関する情報の適切な提供及び総合的ガイドブックの製作
 - (2) 商工関係団体、金融機関等との連携強化
- ★4. 経営発達支援計画に基づく事業への支援について
 - (1) 経営発達支援計画に基づく事業への支援
 - (2) 中小企業相談所補助金の増額

【工業関係】
- ★5. 企業の立地及び設備投資等に係る基盤の拡充について
 - (1) 用地取得、設備投資に係る固定資産税の減免及び補助制度の拡充
 - (2) 企業誘致及び既存企業の設備投資・生産計画の拡大を促進するための工業団地整備に向けての調査・検討
 - (3) 早期の事業展開、イニシャルコスト低減に資する工場整備に向けての調査・検討
- ★6. 先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について
 - (1) 生命科学分野における研究及び産業集積への支援の強化
 - (2) 研究教育機関発のベンチャー企業育成の取組み強化
 - (3) 研究教育機関のシーズと企業ニーズとのマッチングの強化
 - (4) 地域企業との共同研究・開発の促進
- ★7. 食文化創造都市の推進について
 - (1) 食のブランド化とこれに基づく情報発信・販路開拓の推進
 - (2) 地域の農林水産物を活用した新製品の開発支援の拡充
 - (3) 東アジア等に向けた輸出の推進

【商業関係】
- ★8. TMO事業への支援強化について
 - (1) チャレンジジョブ事業への支援強化
 - (2) 若手後継者の育成及びその活動への支援
 - (3) 中心商店街への観光客誘導に資する事業への支援強化

【観光関係】
- ★9. まちなか観光の推進について
 - (1) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進(再掲)
 - (2) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など、城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成(再掲)
 - (3) 観光施設の機能拡充・イベントの開催等に対する支援の拡充
 - (4) 「天神祭」及び「庄内大祭」の拡充
 - (5) 鶴岡お祭りウィーク(庄内大祭、赤川花火大会、おひやさ祭)の拡充
- ★10. DMOを核とした観光の推進について
 - (1) 官民一体となったDMOの早期設立
 - (2) 出羽三山、鶴岡シルク、城下町、食文化をテーマとした着地型旅行商品及び体験観光プログラムの造成
 - (3) 山形DC及び東京オリンピック・パラリンピックの開催に対応した積極的なプロモーション活動の展開
 - (4) インバウンドアクションプランの着実な推進
 - (5) 観光関係データの収集・分析及びマーケティング調査の拡充並びに観光事業者への提供
 - (6) 主要観光地等におけるインターネット接続環境の整備
- ★11. 酒井家入部400年を記念した事業の展開について
- ★12. 温泉地域の活性化・環境整備に向けての支援の拡充について
 - (1) 旧いこいの村庄内に係る土地及び施設の鶴岡市の取得
 - (2) 湯野浜温泉の振興と連携した上記施設等の利活用計画の策定及び推進

【建設関係】
- ★13. 公共事業の確保及び改善について
 - (1) 将来的に安定した公共事業費の確保
 - (2) PFI等による公共事業に係る検討会の設置
 - (3) 国発注工事に係る地元企業の受注機会の拡大
 - (4) 入札制度及び格付け基準の見直し (5) 適正な工期及び工事金額の設定

【雇用・人材育成関係】
- ★14. 企業の従業員確保に係る支援の強化について
 - (1) 高校生・高専生、山形大学農学部生及び首都圏等への進学者・就職者と企業とのマッチング機会の拡大
 - (2) 鶴岡市育英奨学金の拡充及び奨学金返還助成制度の創設
 - (3) 庄内地方における高等学校の専門学科及び総合学科の維持
 - (4) 科学・ものづくりへの関心を高め、第一次・第二次産業への進路選択を醸成する教育の拡充
- ★15. 産業人材・若手人材の育成について
 - (1) 庄内地域産業振興センターにおける産業人材育成機能の拡充
 - (2) 女性のスキルアップに対する支援の拡充

V. その他

- ★1. 民間事業の活性化に資する国・県への意見・要望の強化について
 - (1) 国発注工事に係る地元企業の受注機会の拡大(再掲)
 - (2) 信号機の時間間隔の適正化

第20回 日本海沿岸東北自動車道 建設促進フォーラム

開催日/9月4日(火) 会場/東京第一ホテル鶴岡 主催/(一社)東北経済連合会(会長 海輪誠氏〔東北電力(株)代表取締役会長〕)



日本海国土軸の根幹をなす日沿道は、沿線地域の産業や経済を活性化するだけでなく、災害時における食料・燃料等の支援物資輸送の役割を担う極めて重要な道路です。しかしながらこの日沿道の整備は遅れており、各県境をはじめとしたミッシングリンクが複数存在します。

このフォーラムは、平成11年に第1回目を鶴岡市で開催して以降、これまで大館市、能代市、秋田市、酒田市、新潟市の各都市で関係団体が一体となり、日沿道の早期完成への気運を盛り上げていくことを目的に開催しております。

第20回目となる今回は、第1回目の開催地であるここ鶴岡で行われ、庄内地域を中心に沿線各地から約500名が出席。記念講演は東北地方を中心にバス事業・旅行事業を展開している株式会社みちのりホールディングス代表取締役グループCEOの松本順氏より『交流人口の拡大や防災・減災に資する道路の活用』と題して講演いただき、山形県代表としてエイエムエストラנסポート株式会社(酒田市) 代表取締役の工藤亜紀子氏より意見発表をいただきました。

その後、早坂会頭が「日沿道の日も早い全線開通を政府および関係機関に強く要望する」とした大会決議を読上げ、採択されました。